ハルナグループ沿革

年	主な出来事
1996	2月23日に資本金30百万円でハルナビバレッジ株式会社を設立
	5月　第1回株式上場準備委員会開催
	8月　金融機関に対し月次決算の開示
	11月　東京にマーケティング本部設置
1997	3月　従業員持株会発足
	5月　ハルナビバレッジ研究所設立
	6月　第二工場稼動
	10月　新日本監査法人による調査及び指導開始
2000	2月　第三工場稼動
	5月　総合衛生管理製造過程（HACCP）取得に向けた合同委員会発足
2001	8月　第三工場がJAS工場として認定
2002	2月　リサイクルシステム協議会発足
	8月　四半期報告会を開催
2003	4月　環境会計導入
	4月　企業競争力の強化を図るため市場開発部門を設置
	4月　提案型企業への変革を目指し商品開発部門を設置
	4月　総合衛生管理委員会　発足
	4月　中小企業経営革新計画承認（中小企業経営革新支援法）
	10月　「デカテス」産学官共同プロジェクト（高崎健康福祉大学・群馬県）
	12月　人材教育投資、生産合理化投資、総合衛生管理（HACCP）対応投資
	12月　クリーンルームと充填設備増設
2004	3月　国際食品飲料展FOODEX JAPAN2004出展
	10月　人事基本理念制定
2005	3月　物流関連企業を設立
	4月　ビジネススクールを開講
	10月　緑地公園ハルナコミュニティガーデンを整備
2006	1月　全社IT化に着手
	9月　HACCP承認（厚生労働省発関厚第0912001号）
	10月　地球市民ウィーク2006　環境活動展に出展
2007	4月　ウェルネスサイエンス研究所発足
	4月　EU輸出用緑茶「YOSHI-GO」発表
	6月　オーパイ株式会社事業譲受契約締結　タニガワにて工場準備開始
	10月　合弁会社ハルナヨーロッパ設立
	12月　ハルナグループ全体会議開催開始
2008	1月　タニガワ工場始動
	4月　プロ野球チーム群馬ダイヤモンドペガサスをパートナーシップスポンサー応援
	6月　CSR報告書発行開始

1996-2019

年	主な出来事
2009	1月　タニガワ工場天然ガス設備稼働
	4月　ハルナグループ組織再編スタート
2010	1月　新規事業戦略センター設置
	3月　新商品開発プロジェクトチーム発足
	5月　ハルナビジョン2015公表
	7月　ハルナグループ企業行動憲章・企業行動規範制定
2011	2月　創業15周年記念誌「はじめなければはじまらない」発刊
	3月　ハルナエコロジー株式会社より　ＨＡＲＵＮＡ株式会社へ社名変更
	6月　エネルギー対策委員会発足
2012	1月　震災対策委員会発足
	2月　プラントシステムイノベーション「見える化」コントロール室完成
	2月　ハルナグループ歴史資料館新設
	8月　ハルナ工場のエネルギー転換（A重油から都市ガスへ転換）
2013	4月　ジョイパック社　ハルナグループ参画
	7月　HARUNA Asia Co.,Ltd 設立
	10月　自社ブローボトル成型機導入、稼働開始
2014	4月　ジョイパック社が100％子会社となる。ハルナジョイパックへ社名変更
	6月　ビジネススクール榛名山麓研修所開所
	10月　和歌山工場　自社ブローボトル成型機導入、稼働開始
2015	7月　国際的食品安全マネジメントシステムの「FSSC 22000」を取得
2016	1月　創業者 青木清志が第33回優秀経営者顕彰「優秀創業者賞」を受賞
	2月　創業20周年記念彫刻「水滴」完成
	4月　和歌山工場　小型容器飲料の生産が本格稼働
	4月　上毛新聞「心の譜」（ハルナグループ創業者・青木清志）連載
2017	2月　群馬県の地域活性化キャンペーン「ぐんま愛 ここに生きる」を支援
	12月　経済産業省選定「地域未来牽引企業」に選定
2018	4月　ハルナグループ組織再編スタート
	4月　長期経営ビジョン公表
	12月　日本経済団体連合会へ入会
2019	1月　和歌山プラントLNGサテライト設備の導入
	1月　タニガワプラント蒸気供給共同スキーム事業の運用開始
	3月　スペイン販売会社と資本提携販売を開始
	3月　SDGs私募債発行に伴う群馬県の県民基金へ寄付

ハルナグループ体制

ハルナビバレッジ株式会社（持株会社・経営戦略・人事・財務経理）

ハルナプロデュース株式会社（国内飲料事業会社）

ハルナウェルネスサイエンス研究所

HARUNA 株式会社（HARUNA ブランドマネジメント会社）

HARUNA Asia(Thailand) Co.,Ltd.（海外飲料事業会社）

～長期経営ビジョン～
～グループビジョン～

■多種多様な飲料を創造し飲む感動、美味しさ、喜び、新しさを通じて皆様に信頼される企業グループを目指す。

■全てのステークホルダーの満足を追求し持続的な企業価値向上を図る。

ハルナビバレッジ

Haruna Beverage Inc.

持株会社・経営戦略・人事・財務経理

ハルナグループ長期経営ビジョンにあるように、社会に幅広く必要とされる飲料を創造し、「飲む感動」「美味しさ」「喜び」「新しさ」を通じてステークホルダーの皆様に信頼される企業グループを目指します。

ホールディングカンパニーであるハルナビバレッジは 2018 年 12 月に経団連に入会し、SDGs（持続可能な開発目標）を大きな指針とし、イノベーションの創出により新たな企業価値の創造に向けて取り組んでいかなければなりません。

そのためにハルナグループはマネジメントをさらに強化し、経営水準を向上させホールディングカンパニーと事業会社のミッションと役割をより明確にすることで力強いグループ経営を推進し、人財・資金・知見を最大限に活用し盤石な経営基盤の強化を図ってまいります。

創　業	1996 年 2 月 23 日
所在地	東京本社：〒 103-0027　東京都中央区日本橋 3-8-4 日本橋さくら通りビル 2F TEL：03-3275-0191（代）FAX：03-3275-0192 群馬本社：〒 370-3531　群馬県高崎市足門町 39-3 TEL：027-387-0101（代）FAX：027-387-0102
資本金	4 億 2,890 万円（発行済株式数 8,918 株）
連結売上高	236 億円（2019 年 3 月末）
役　員	取締役　名誉会長（創業者）　青木清志 代表取締役社長（最高経営責任者 CEO）　青木麻生 専務取締役（グループ経営戦略兼財務責任者 CSO）　栗原健一 取締役（海外事業・海外ブランド統括）　青木日出生 取締役【非常勤】　小出信介 取締役【社外】　須齋　嵩 取締役【社外】　岡　俊明 監査役【常勤】　菅谷重信 監査役【常勤】　小林欣司 監査役【社外】　小出亮介 執行役員　藤井　満

ハルナプロデュース

Haruna Produce Inc.

マーケティング本部（営業・ディストリビューション・ブランディング・商品開発・ハルナウェルネスサイエンス研究所）
生産本部（製造・品質保証・社会環境・業務管理）

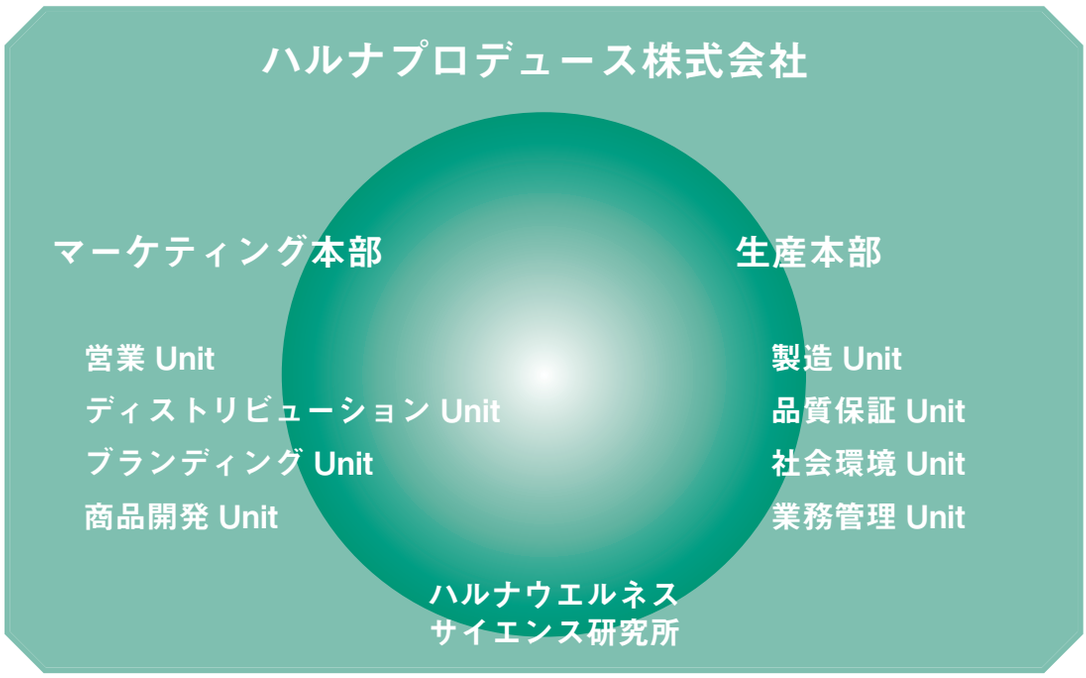
創　業	2009年4月1日	資本金	4億円

所在地

本社・生産本部：〒370-3531　群馬県高崎市足門町39-1
TEL：027-372-6911（代）　FAX：027-372-6912
マーケティング本部：〒103-0027　東京都中央区日本橋3-8-4　日本橋さくら通りビル2F
TEL：03-3275-0191　FAX：03-3275-0192
ディストリビューション：〒370-3504　群馬県北群馬郡榛東村広馬場3044-1
TEL：0279-25-8385（代）　FAX：0279-54-6115
〒379-1307　群馬県利根郡みなかみ町政所1011
TEL：0278-62-1115　FAX：0278-62-1718
商品開発：〒370-3531　群馬県高崎市足門町39-3
TEL：027-384-4747（代）　FAX：027-310-0070
購買：〒370-3531　群馬県高崎市足門町39-1
TEL：027-372-6913　FAX：027-372-5877
〒379-1307　群馬県利根郡みなかみ町政所1011
TEL：0278-62-1112　FAX：0278-62-1144
ハルナプラント：〒370-3531　群馬県高崎市足門町39-1
TEL：027-372-5875（代）　FAX：027-310-0717
タニガワプラント：〒379-1307　群馬県利根郡みなかみ町政所1011
TEL：0278-62-1111（代）　FAX：0278-62-1144
和歌山プラント：〒640-0441　和歌山県海南市七山711-1
TEL：073-486-0231（代）　FAX：073-486-0210
ウェルネスサイエンス研究所：〒370-3531　群馬県高崎市足門町39-3
TEL：027-372-1230（代）　FAX：027-372-1255
大阪事務所：〒532-0011　大阪市淀川区西中島6-7-3　第6新大阪ﾋﾞﾙ903号
TEL：06-6195-1755（代）　FAX：06-6195-1775

役　員

代表取締役社長兼最高執行責任者（COO）	中澤 幹彦
取締役兼専務執行役員（CTO）	古市 直也
取締役兼専務執行役員（CMO）	山崎 敦也
常務執行役員	三原 修一
常務執行役員	松下　護
常務執行役員	小池 賢司
常務執行役員	小川 啓治
執行役員	邑上 豊隆
執行役員	清水 秀憲
執行役員	山村 慎一
執行役員	浅野間 博文



『挑戦』ハルナビジョン 2026 チャレンジ

顧客ニーズを新価値創造へと昇華し、限界突破から未来創造のイノベーションを実現しよう！

ハルナプロデュース 株式会社
代表取締役社長兼
最高執行責任者（COO）
中澤 幹彦

2018 年度、ハルナプロデュース（株）は顧客ブランド、自社ブランドの営業活動の一本化と共に、和歌山のプラントと物流、運輸機能等の統合を図り、各部門が磨き上げてきた専門性を融合し新たな価値を創造することを目的としてまいりました。

組織改革の中、注力したのは、東京、大阪、和歌山、群馬の各現場で責任者との面談や BS 講義としてリーダー向けの講義等を実施して徹底的な意識改革の実践や、我々の経営理念である「顧客志向を経営の核」と考えた際に、すべての社員、すべての部署と機能が、言葉や行動、商品やサービス、各機能の業務を通してお客様に感動していただくことを目標に会社運営に力を尽くしてまいりました。

2018 年度は西日本豪雨、関西・北海道の地震など多くの災害発生や猛暑等の気候変動により、協力工場を含めた製品供給体制の問題や製品運送車両の確保等、予期せぬ業務も多くございました。厳しい状況の中、その努力は各部署間で確実に向上し、社員一人ひとりや組織の活動を通して結果として表れてきていることを実感しています。

2019 年度の方針につきましては、

『挑戦』ハルナビジョン 2026 チャレンジ

とさせていただきました。人財育成と組織力強化と共に、各拠点及び商品企画・開発・営業・生産・物流の融合効果をより強化することで、新たな価値創造の実現と感動経営を目指し、ハルナグループとステークホルダーの皆様の繁栄と発展を目指して努力精進してまいります。

EVOLUTION of Haruna Brand

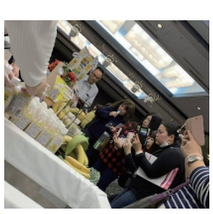
さらに美味しく、さらに楽しく、さらにエモーショナルにハルナブランドは進化しつづけます。

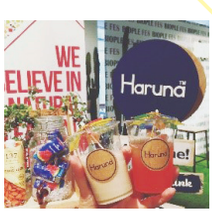
PROMISE――約束

価格で勝負しない
でも無理のない範囲で購入できる
他では得られない満足感を得られる
輸入品も日本品質でしっかり管理
国内製造品も輸入品も
気軽に手軽に安心して楽しめる
棚の景色を変えるハルナ

PET ボトル・テトラパック・瓶
様々な容器とデザイン性の高さ
で『棚の景色を変える』

タイ工場視察
現地との取り組み





EMOTION――情緒

ハルナのドリンクを飲んでいることを自慢したくなる
こんな商品を知っているよ、と友人に伝えたくなる
飲むとなんだか健康になれる気がする
単なる止渇だけでない、プラスアルファの価値を
提供できるハルナ

PROMOTION
販促 PR

2018 年よりメディアの露出が
高まる。2019 年は拡散の年に！

SNS フォロワー増

Instagram
6000 名

Twitter
7800 名

渋谷駅前
スクランブル交差点
大型ビジョンで
動画広告配信中！
(2019 年 4 月～ 10 月)

情報番組等の
テレビ番組での
取り上げ急増！

WEB ニュース
での掲載多数

News

2019 年 5 月 21 日
ハルナブランド初
大手 CVS 全国発売！

CHABAA

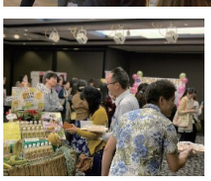
ウォーターメロンジュース

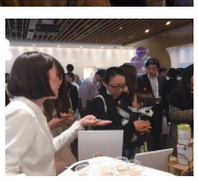
クリアバナナウォーター

COMMUNICATION――交流

まだまだ成長過程のハルナだからこそ応援したくなる
SNS やイベントを通じファンと直接交流できる
単なるフォロワーではなく、ファンに、そして仲間に
お客様との関係性を大切に

SNS 強化中




イベントへの積極的出展
お客様の声を聞く

TASTE――美味しさ

どんなに健康的でも、美味しくなければ意味がない
美味しさはリピートに、幸せにつながるから
だからこそ、何よりまず味にこだわるハルナ

PRODUCT――作品

ひとつひとつが様々なストーリーをもった「作品」

営業Unit

～ブランドの価値をさらに磨いていきます～

2018 年度は地震や自然災害などが発生した状況の中で自社ブランド、顧客ブランド、それぞれの顧客層に対して営業活動を行い、多様化する顧客ニーズにお応えしてまいりました。

今年度もさらなる顧客接点を高め「ブランド価値をさらに磨き続け」、最終消費者の期待を上回る商品を提供し、自社ブランド、顧客ブランド双方に対して、HARUNA ファンの顧客に支持される活動を行ってまいります。

～ 2019 年度の取り組み～

①安定供給体制の強化

・自社プラントの更なる生産効率化の推進
・外部協力工場との密接な連携と新規委託工場開拓と当社枠確保
・全国物流ネットワーク拡充による配車力増強

②コーポレートブランドの展開強化

・マルチブランド戦略を継続する中で HARUNA ファンをさらに獲得していく
・ハルナアジアとの連携をしながら、新ブランド商品の発掘

商品開発Unit

～美味しさと驚きでお客様を笑顔に～

商品開発 Unit では、お客様の嗜好やニーズに応える商品はもちろんのこと、「独創性ある飲料プロデューサー」として皆様に喜びと感動を与える商品作りに取り組んでおります。

■新商品トピックス

現在、市場の流行としてプロテイン飲料が注目をあびています。プロテインは、これまで粉末をシェーカーで溶かして摂取する方法が基本でしたが、すぐに飲める RTD（Ready To Drink）タイプのプロテイン飲料の人気が出ております。高濃度の RTD 商品は設計が難しい部分が多くありますが、弊社での経験をもとにその点を打破し、商品としてお客様にお届けすることが可能となっております。

■国内開発チーム

お客様の声や市場のニーズに対応した商品からトレンドの逆転発想商品まで、生活に欠かせない飲料をより個性的な飲料とするために、今日までの経験を基軸とし、個性あふれる開発員の自由な発想でお客様に楽しんでいただける商品開発に取り組んでおります。

■海外開発チーム

2018 年度より新たに海外に向けた商品開発チームを発足し、タイを拠点にした東南アジアでの飲料事業やヨーロッパへ「Made in Japan」のお茶飲料を輸出するなど、市場のニーズやお客様の嗜好を調査・研究し、「ハルナから世界へ」飲料を展開しております。

■技術開発チーム

新商品を創り出す上で、安心安全を確実にチェックすることはもちろんのこと、喜びと感動を与える商品を世に送り出すため、新たな素材や製法を日々研究し、商品をより魅力的なものに変化させるべく日々取り組んでおります。

お客様のご希望に沿う、市場にはないオリジナルな原料の作製を含め、
独自性のある商品開発・商品化をご提案いたします。

ディストリビューションUnit

～お客様と共に、課題に向き合い業務遂行～

2018 年度は度重なる災害の発生、早い梅雨明けからの気温上昇等の影響による輸送量の増加、変動への対応が問われた 1 年でした。
2019 年度は製品の保管、輸送の両方について計画的強化に取り組みお客様のご要望にお応えします。

～ 2019 年度事業方針～

製品の安定供給を具現化し、お客様の御依頼に対して常に前向きな姿勢で取り組んで参ります。

～事業戦略（主要項目）～

1）物流営業 sec

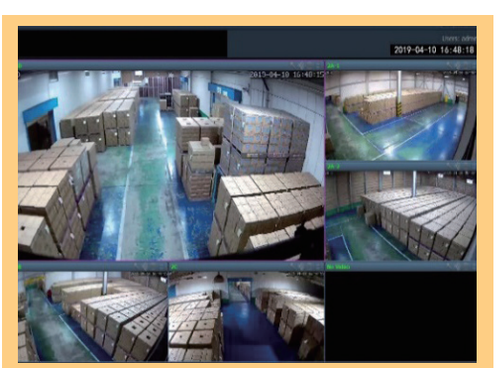
①渉外チームを発足し車両手配を強化。お客様の出荷要請から実際の製品出荷に関する物量対応の安定化を進めてまいります。
②コンテナ便利用の促進等、1 台当たり 1 ケース積数の高効率化と配送単価低減を継続し、物流コスト削減に努めてまいります。

2）倉庫 sec

①全拠点自社倉庫保管率の向上（2018 年度比 +3%）
②保管製品の汚破損防止目標強化（100 万 c/s 毎 0.8 件以下、ケース数量目標 4 ケース以下）
物流品質の向上に努めてまいります。

3）物流情報の高度化促進

①物流 IT、IoT の推進。自働搬送機、省力化設備の企画、導入を推進。
②物流データベースの統合による全拠点製品情報一元化推進。



倉庫 WEB カメラ（和歌山）

製造Unit

～ハイクオリティー・ローコストオペレーション体制の構築へ～

ハルナプラント、タニガワプラント、和歌山プラントと3つの生産拠点からなる生産体制を効率的に運営し、日本全国のお客様へPET飲料を届けています。
2018年度は新たな製品の導入に向け設備投資を行い、昨年4月から600mlの茶系飲料、今年2月から1Lのお酢飲料の生産を開始しました。また、生産性向上に取り組み、3拠点ともに年間生産数量を大幅に伸ばしました。
これからも、より多くのお客様に安心して商品を購入し続けていただくために、より品質の高い商品を、より効率的に生産する取り組みを進め、皆様のご要望にお応えしてまいります。

～2019年度の取り組み～

①新たな液種、新容器、新包材の導入を推進し、新たな需要や多様化する顧客ニーズに対応します。
②3つの生産拠点からなる結合力を活かし現場改善を推進することで、生産性の向上に取り組みます。
③ロボットやAI、IoTといった新技術の導入検討を進め、ハイクオリティー・ローコストオペレーション体制の向上に挑戦します。

第1プラント

第4、第5プラント

品質保証Unit

品質管理 Sec は群馬県の 2 拠点（ハルナプラント、タニガワプラント）、和歌山県の和歌山プラントそれぞれに人財、設備を整え活動しております。創業以来、独立した組織体制により、商品の安全性を維持、管理する体制を徹底しており、製造現場の衛生維持と管理向上、商品の安全性確認のための最終製品検査などをおこなっております。
品質部門として 3 拠点にわたる活動をしておりますが、拠点間での情報共有やコミュニケーションをとりながら活動を行うことで、マネジメントシステムだけでなく、お客様のご要望やご指導についても全拠点で水平展開し、よりよい製品づくりに取り組んでおります。今後も従業員全員で取り組み意識や目標達成に向け一体感をもって活動し、お客様へ安全な製品と感動をお届けしてまいります。

ハルナプラント

タニガワプラント

和歌山プラント

～ 2018 年度に行った食品安全への取組み～

2015 年のハルナプラントにおける食品安全マネジメントシステムのグローバルスタンダードである FSSC22000 の認証を取得を皮切りに 2017 年までの 3 年間でタニガワプラント、和歌山プラント含む 3 拠点全てにおける認証取得が完了しました。
マネジメントシステムを統括管理するテクニカルプロデュース Sec が事務局として中心となり、各拠点の食品安全チームメンバー含め日々活動しております。
また、フードディフェンスにも注視し活動しており、工場入口へ生体認証による入場システムも導入しております。ハルナプラント、タニガワプラントでの設置完了後、和歌山プラントにおいても設置へ向けた準備を進め設置および運用開始され、セキュリティーシステムにおいても全てのプラントにて設置・運用を実現しました。

FSSC 22000 とは

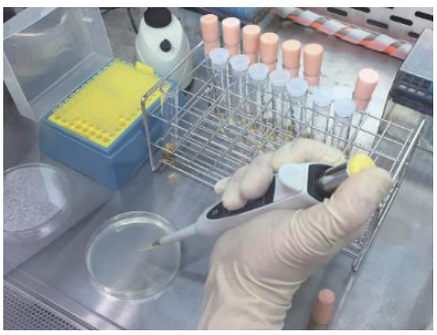
食品安全マネジメントシステムの国際規格である ISO 22000 と、それを発展させた ISO/TS 22002-1（または ISO/TS 22002-4）を統合し、国際食品安全イニシアチブ（GFSI）が制定したベンチマークの承認規格です。世界の大手食品流通様や大手食品製造企業様が取引先に認証取得を求めているグローバルスタンダードです。

和歌山プラント
生体認証設備

拡大写真

ウエルネスサイエンス研究所

ウエルネスサイエンス研究所は、ハルナグループの将来を見据え自由の発想のもと、新しい価値を創造することを目的とする研究機関であります。社会的インパクトが高く、社内外に大きな影響をもたらすことができる組織として活動してまいります。



～研究事業内容～

■安全な飲料商品を提供するための原料探索

ペットボトル飲料の賞味期限は約６か月から１年間と、非常に長い期間保存することが可能であります。当社ではこれら長期期間の保存に対して、お客様に安心安全な商品をご提供できるように努めております。特に継続的に研究開発を進めている内容として、商品の安全性担保のため、微生物の増殖を抑制する天然物由来原料を探索、開発を進めております。これまでの原料は化学合成品が多いため、天然物由来原料は商品イメージ向上にもつながると考えています。この研究開発によって、これまで自社工場では困難であった商品液種について商品化が可能となるとともに、その商品性も向上できるよう進めております。

■分析技術の確立

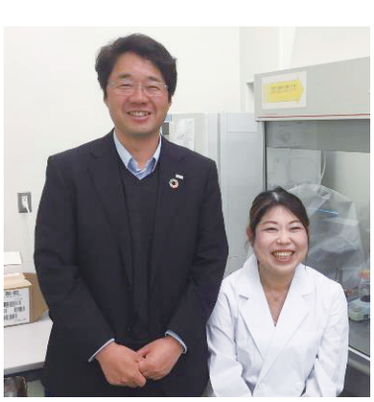
いろいろな商品の差別化を図るために、原料のこだわりや機能性などを付加した商品が多くなり、それら商品に対する科学的なエビデンスが必要になっております。そこで当研究所では栄養素や機能性物質を測定できる体制を整えております。

■機能性表示食品、特定保健用食品の研究開発

健康食品としての商品価値の向上を目指し、消費者庁の許可が必要な機能性表示食品や特定保健用食品に関しても研究所において、調査、申請業務を行っております。本年度も商品化に向けて申請手続きを実施しております。

■お茶に含まれる有益な成分の研究

普段飲んでいるお茶は、少し渋く苦い飲み物であることは、皆さんご存じであると思います。この苦味渋みの成分はタンニンと呼ばれており、その中でも有名なのはカテキンという成分です。カテキンはただ苦味渋みを与えるだけでなく、機能性物質としてヒトへ有益な作用を示すことがわかっております。その機能は抗菌性、抗酸化活性、抗糖化活性や腸内細菌叢改善においても役立つとされています。古来、ヒトは長い年月をかけてお茶がカラダに良いことを自然に理解し飲んできました。研究所ではお茶に含まれるヒトに有益な物質の研究も進めており、商品の品質向上、健康飲料開発へ繋げてまいります。



HARUNA

Haruna Inc.

Haruna ブランドマネジメント

創　業	2008 年 4 月 1 日
所在地	〒 103-0027　東京都中央区日本橋 3-8-4　日本橋さくら通りビル 2F TEL：03-3517-5745　FAX：03-3517-5759
役　員	代表取締役社長　　青木日出生 取締役【非常勤】　青木麻生 取締役【非常勤】　中澤幹彦 監査役【非常勤】　青木清志

HARUNA Asia（Thailand）

創　業	2013 年 4 月 22 日
所在地	32/23, Sino-Thai Tower 2F., Sukhumvit 21 Rd. (Asoke), Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok, 10110　THAILAND TEL +(66) 2258-0937 FAX +(66) 2258-0939 E-Mail info@haruna.co.th
役　員	代表取締役社長　　青木日出生 執行役員　　松田貴之

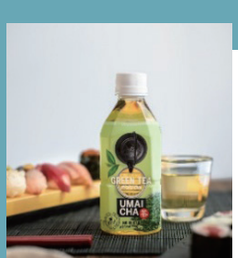
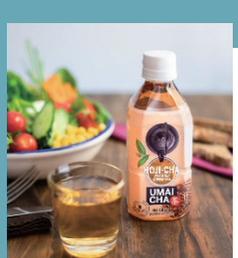
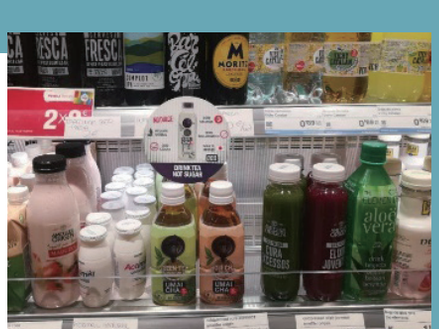
2019 年 3 月をもって、タイにて自社商品を立ち上げてから 1 年強が経過致しました。この間、3 つの飲料カテゴリーで 10 商品の開発、販売を行ってきました。

日本で培ってきた飲料ビジネスのノウハウ及び、それまでのタイでのプライベートブランドビジネスの経験を生かし、タイ現地で支持いただける商品の開発、営業展開を目指してきました。

ASEAN においては、タイをハブに、周辺国への展開及び、日本とのビジネス展開を引き続き強化してまいります。

HARUNA株式会社
代表取締役社長
青木 日出生

欧州では茶系ブランドを持つスペインの会社へ出資を行い、製品の企画・日本での製造・品質管理・欧州での販売・マーケティングまでパートナーシップを組み、2018 年度から販売スタート致しました。今後伸長しているオーガニック商品を中心に、スペイン・フランス等、西ヨーロッパをメインに活動を広げていきます。

Lineup

Lineup